





題字/後西天皇御宸筆

天神さまと私

京都精華大学学長

ウスビ・

サコ さん

恭しく大嘗祭當日祭を斎行 『北野大茶湯』の縁を今に 表千家不審菴家元猶有斎千宗左宗匠献茶祭ご奉仕

日本文化の中心地 その文化の礎を築いた天神信仰発祥の 京都 社

宮

由

て崇められるとともに、天満宮・天神社の総本社として崇敬されてきました。 天神」の神号を賜り、さらに皇室・朝廷の崇敬を受け二十二社に加えられ、臣下として初めて官幣中社に列格、 御鎮座致しました。天徳三年(九五九)右大臣藤原師輔卿が御社殿を造営、 天神信仰発祥の社として今から千年余り前の村上天皇天暦元年(九四七) 宮は御祭神に菅原道真公(菅公)をお祀りした全国天満宮・天神社一万二千社の宗祀(総本社)の神社です。 一條天皇により北野祭は官祭に与り、 六月九日、御神託により平安京の天門にあたる北野 皇城鎮護の神とし 「北野天満大自在

生涯一貫された「誠の心」は、日本人の感性として現在にも生き続けています。 敬をうけ、庶民に至るまで「天神様」として親しまれてきました。菅公は、学者・政治家また詩人・教育者として多方面に活躍され、 厄除け・至誠・冤罪を晴らす神として奉祀されるとともに、人々の心の支えとなる神として、各時代の社会構造と相まって篤い崇 た北野の天神信仰は、平安京の天門にあって、 二十数度に亘り、さらに将軍家や有力大名の崇敬を受けました。 創建以来、 「文道大祖 風月本主」と崇められた菅公は、和魂漢才の精神で誠の心を以って学問に勤しまれたことから、学問をはじめ芸能・農耕 皇室との御縁深く、寛弘元年(一〇〇四)には一條天皇がはじめて北野社に行幸されました。以来歴代天皇の行幸も 朝野を問わず人々の暮らしの最も重要な指針となり今日まで育まれてきたのです。 菅公薨去延喜三年(九○三)より凡そ百年の歳月をかけて誕生

神社建築史に多大な影響を与え続けています。 特に多数の桃山建築中でその創建当時の規模そのままに保存されているのは当宮が唯一のもので、 ある縁起絵巻の中で唯一無二の神社絵巻物であり、 建築群です。御本殿は八棟造と称され、国宝の指定を受ける桃山文化の代表的建築です。 また現在の御社殿は、豊臣秀吉公の遺命により豊臣秀頼公が片桐且元を奉行として、慶長十二年(一六〇七)に造営された一大 千有余年に亘る歴史の中で受け継がれてきた天神信仰の根本を示すのが、当宮所蔵の国宝「北野天神縁起絵巻」承久本です。 その信仰性や描かれる世界観、美術的価値は世界が認めるところであります。 その絢爛豪華さは謂うまでもありませんが 後世の権現造の原型となるなど、

今日も多くの参詣者が訪れています。 菅公の御神霊を祀る北野天満宮は、 御墓所・太宰府天満宮と共に全国天満宮の宗祀と称され、 日本文化の礎、 学問の神様とし





【シンボルマーク】

より全国に天神様の御神威が益々昂揚していきました。 の出入口「天門」に菅原大神が奉祀された聖地です。 北野は千二百年に亘り、国都として文化を育んだ平安京にて、天の神々 平安京の天門に位置する北極星を星梅鉢と鳥居 (北野) で捉えたマーク 爾来、

―美しく葺き替えられた西廻廊檜皮葺御屋根と国宝御本殿-

一昨年より進めてきた菅公千百二十五年半萬燈祭に向けた重要文化財東西廻廊檜皮葺御屋根修繕事業が整い、西廻廊の檜皮葺御屋根が 美しくよみがえった。御屋根に施された飾り金具からは、江戸時代に活躍した都一の錺師であった「躰阿弥」の名が発見されるなど、 改めて北野天満宮御社殿の信仰的かつ文化的価値が注目されている。(詳しくは31頁参照)





様方の健勝と御多幸を御祈念申し上げます 新春の年頭にあたり、 先ず以て聖寿の万歳と皇室の弥栄を心から寿ぎ奉るとともに、氏子崇敬者の皆

勅祭として執り行われた祭礼「北野祭」所縁の「例祭」斎行日を旧暦に復し、九月四日に斎行致しました。 は、御同慶の至りでありますとともに、国民斉しく衷心よりお慶び申し上げる次第でございます。 天皇に御即位なされ、新しく令和の御代が始まりました。昨秋には、我国悠久の歴史と伝統に則った即 昨年再興致しました御手洗祭から例祭、瑞饋祭へと続く一連の神事の構築は、往時の「北野祭」再興 当宮では昨年、この目出度き御年に際し、永延元年(九八七)、時の一條天皇が北野社に勅使を差遣され、 御一代に一度の重儀大嘗祭を御斎行遊ばされ、御大礼の御事が万事恙なく執り行われましたこと 畏くも上皇陛下が御譲位遊ばされ、皇太子徳仁親王殿下におかせられましては、第一二六代

の大絵馬

(子)

に向けての大きな一歩となりました。

代文化も織り交ぜながら数々の文化行事を執り行い、多くの参詣者にお越し頂くことが出来ました。 偏に氏子崇敬者並びに関係各位のご協力の賜と存じ深く感謝申し上げる次第でございます。 化を世界に発信する「KYOTO NIPPON FESTIVAL」開催など、歴史と伝統、 る献茶祭を、表千家不審菴家元千宗左宗匠のご奉仕により、 葺葺替え事業を執り進め、当宮の歴史・伝統に即した旧儀の復興に努めて参りました。これらの成果は、 列のもと斎行致しました。また、今や京の紅葉の名所となった史跡御土居のもみじ苑の開苑や、日本文 境内整備として紅梅殿の移築や船出の庭、御手洗川の復興、文道会館の建設や重要文化財東西廻廊檜皮 さて、平成の御代を振り返りますと、当宮では例祭や御手洗祭、曲水の宴などの神事の再興、また、 昨年十二月一日には、豊臣秀吉公が天正年間に行った千利休居士所縁の大茶会「北野大茶湯」に 而妙齋千宗旦前家元はじめ関係各位のご参 そして現

の額と干支

平安儀式殿の建設と北野祭の要とも言える「神輿」の再興。これらの諸事業を千百二十五年半萬燈祭記 勅祭由縁の例祭執行にあわせた能、あるいは歌舞伎などの神賑行事の充実であり、また当宮の衆人信仰 進めるべく、とりわけ「精神の継承」と「形の継承」とに注力して参りたいと考えております。その一つが、 念事業として執り進めて参る所存でございます。 を象徴する伝統行事である萬燈会に通ずる献燈行事の実施。 愈々本年は、 七年後(令和九年)に迫った菅公千百二十五年半萬燈祭に向けた種々の計画を具体的に 加えて新たな文化発信の施設である (仮称)

開運

北野天滿宮

菅公を顕彰する楼門「文道大祖 風月本主」

の完遂に向け引き続き格別なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。 ご理解ご協力があって、はじめて執り行うことができる大きな事業であります。 する全国会員の皆様、当宮崇敬会である梅風講社講員の皆様、そして日々ご参詣頂く氏子崇敬者各位の 素よりこうした半萬燈祭に向けた諸事業は、北野天満宮講社会長である裏千家千玄室大宗匠を始めと 御神縁深き氏子崇敬者皆々様のお力添えを頂き乍ら、天神信仰の更 関係者各位には、

なる発揚に職員一丸となって努めて参る所存でございますので、

ご高配の程宜しくお願い申し上げます。

巫

女

出

仕

本年も御祭神の御加護のもと、



令和二年庚子 元旦 北野天満宮 富司 橘 重十九

> 名誉宫一 文化部 権禰 財 禰 宮 務 宜 事 部 司 宜 長 長

井上 松 梶橘梶 道嗣 慶一 孝 真至幸

一伊田藤堀岡威篠川上湯田白東黒松小中加嶋松堀 色藤淵田川田徳原村嶌浅中江川木大竹野藤田原川 寺亮 珍 英 民 雄 稔 秀 太 亮 将 和 副 秀 楠 崇 和 史 忠 晃 貴 史 宏 里 香 弥 英 矢 正 洸 郎 滋 司 雅 央 宜 彦 史 弘 浩 雄 靖 績

田大淵坂 屋 摩也

職 員



恭

く大嘗祭當 新 榖 を お 供 え 日 祭 を斎 皇 室 行 の 弥 栄 国家安泰を祈

願



の 地 執

仕

迎えた。 恭 ゃ 大祓詞を奏上、 司 祭典で に引き続き参列者の代表が次々玉串を奉奠 しく奏上、 稲 穂、 白 は、 酒 など 四 御 人の巫女が豊栄舞を奉奏、 神 切 が 前 供えら 奉 祝田で れ、 宮司が祝詞 収 穫さ れ た米

した。

日祭を斎行、 崇敬者ら約百 当宮でも十一月十五 大嘗祭」 新 天皇の御 が皇居 五穀豊穣に感謝し皇室の弥栄 人の参列の下、 即 位 で に 日午前十 行われたことに合わせ、 伴う皇位継承の重要神事 恭しく大嘗祭當 時から御本殿に

日、大嘗祭當日 出の庭においての大嘗祭「臨時大祓」に臨み、 十一月二十三日、 された穀物を天皇自らが天照大御神を始め 国家の安泰を祈願し する宮司以下の神職は、 最も重要な宮中祭祀である。 の り行われる新嘗祭であ 大嘗祭は、 大嘗祭當日祭として厳粛に斎行した。 神々に御自ら供される御一代に一度限り 新たに即位された天皇が 今年は大嘗祭とあって、 麻で邪気を払って當日祭を 宮中に合わせて新嘗祭を斎 た。 h 三日前に紅梅殿船 その年に 当宮では例年 初 こ の め収穫 め 奉 て



大嘗祭當日祭斎行に先立ち、大嘗祭「臨時大祓」を執行(11月12日)



宫

を



豊栄舞奉奏

に

結

V,

つ

1,

て

1,

た

か

が

・伺える。

当

宮

で

は

天皇が

で

着

用き

ħ

た彩色

の

御

即

位御装束并御祭庭悠紀主基

L

江

À

書物を所蔵しており、

物 題

研 た

究も

待 期

た の

れ

てい

装束

Þ

大嘗祭

の

斎

田

の

見 即位

取

h 式

図

など

が

三十二頁「歴史の一齣」参考

「平安京の今昔マップ」



祭 あ

が

貞

四

六

七

東

山

天

皇

時、

る。

と 享

< 嘗

応

仁 北

の 野

乱 天

で 満

え 密

て 接

() な

た

大嘗

の

大

祭、 に

宮 途

と 絶

関

係

祓

百二

-年ぶり

に復

興

L

その

際

重 の

の場とし

て大きな働

きをし たが

て

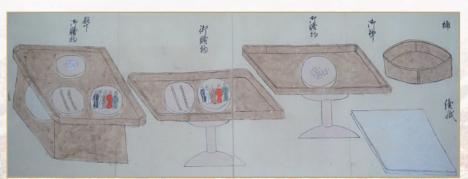
秋晴れの中、大嘗祭當日祭斎行

祝詞奏上

「荒見川の祭(十一 連 の と、 ħ 前 る 始 祓 て大嘗祭に 境 が まり 九内を流 後、 て ŧ の , j な 歌 当 、祭典に の ŧ お で で を告 ように 興 ず の あ 何 被記 月 3. ħ ħ 日 即 宫 行 た克明 げ 臨 奉 て が に 位 北 仕 る重 野天満宮と大嘗祭が ど ŧ 除災 式 h 仕 , j 行 に (社 荒見川 だ。 る ŧ す 当 及 わ な記録 要 四四 僧) る た *]*: の ħ 紙 行 な 月 っ 即 屋 て 祈 つ 人 わ 祓 たちち ŧ の 祓 川 て 位 祷 n 1, 3 が え 記録 h 安 に の が は 7 宮仕 当た の の 泰 異 北 はここで罪 行 この荒見川と 場だっ 図 を 称であり、 野 る 九 祈 わ 月二 に ゃ の 祷 っ n 紐 ょ きら 地 て 解 () 4 て 十 たと 仕 即 は、 か は大嘗祭 お 1, に 穢 九 て に 位 7 密 の 大嘗 1 日 遺 $\langle \cdot \rangle$ か 祈 風 4 は、 名 え を 接 ż つ に 祷 そ 雨



古く大嘗祭に先立ち祓えが執行された 荒見川祓所 (現在の紙屋川)



当宮史料に残る荒見川贖物

大嘗祭と密接も 係 当宮を流 が あ れたな る 北 紙野 屋天川満 で 荒見 川

天正の 野大茶湯』 斎 の 縁を今に

献

か

奉茶祭嚴



御神前でお点前される表千家不審菴家元千宗左宗匠

の信仰深い北野天満宮だからこそ斎行できる神事と言える。 武者小路千家·堀内家·久田家) 宗匠(藪内家・表千家・裏千家・ 当祭典は、 神前での献茶祭は午前十時半から斎行。表千家不審菴家元猶有 在洛の四家元・二

が六年ごとに輪番でご奉仕を務められるのが習わしで、これは茶の湯

豊臣秀吉公が当宮境内で開いた 楽しむ茶人で終日賑わいを見せ 設けられた境内一帯は、一服を の好天に恵まれ、多くの茶席が 数の参列の下、 存会役員を始め茶道関係者ら多 宗匠のご奉仕により、献茶祭保 本殿で表千家不審菴家元千宗左 最初の献茶祭が十二月一日、 北野大茶湯」を縁とする令和 約四百三十年前の天正時 師走入りとは思えないほど 厳かに斎行され



大勢の参列者がご覧になる中、献茶される宗左宗匠



が供えられた後、

田照雪氏、

献茶祭保存会の鈴鹿且久氏らがそれぞれ玉串奉奠され、

宮司が祝詞を奏上。家元の宗左宗匠や職家代表の

北野大茶湯」を偲んだ。

. 本殿での祭典を終えた。

この後、祭員と家元らは豊国神社へ参進、豊国神社献茶祭を斎行し、

前に献ずる濃茶・薄茶を二碗ずつ点てられた。

斎千宗左宗匠がご奉仕され、

御祭神と豊太閤を祀る豊国神社の御神

御神前に濃茶・薄茶

豊国神社献茶祭



玉串拝礼

茶

祭

立

日

芸妓 姿の茶人らで大賑わいを見せた よるそば 置 青空の広がる好天のなか、 組 合)、 席も 西方尼寺 設けられ 楽殿横には献茶祭 (水月会) 副席 即審会(社務所奥の間) 境 保 に組 内 各副 存 は



副席 水月会(西方尼寺)



副席 上七軒お茶屋組合・同芸妓組合 (上七軒歌舞練場)



副席 両笑会 (明月舎)



会に

席 同

和

服

月

舎

(两笑会)、

(松向 の (不

軒

:保存会)、

6

たほ

務 向軒

所 服

奥

間

即

審

会)、

務 n

広間

に 社 は

審菴)

が

七軒歌舞練場

企上

七軒お茶屋

合•

修復が整った茶室 明月舎



古式ゆかしく御茶壺道中



献茶祭保存会役員ご奉仕による口切式 (鈴鹿且久氏・大倉治彦氏・長谷幹雄氏・畑正高氏・乾八郎兵衛氏)



宰領渡辺孝史氏による検知

口 + 茶業関 壺 に 茶 抹 次 道 の 時 会 お 茶 h 0) 中 の と 詰 献 原 役 で 員 Z の 運 治 が 九 鳥 並 ば 本 古 7 n 居 5 慣 菜 0) 色 式 引き 山 例 鮮 に 辺 則 h 茶生 な 使 氏 碾茶 茶 は ŧ 献 0 娘 産 山 3 用 斎 0 地 御



北野大茶湯図 浮田一蕙筆

で

賑

わ う

北野大茶湯高札

までー

間

の空所もなく

官の

吉田兼見卿は

「北野経堂から松梅院の近

傍

八百余の茶席が造られた

の 拝

程

度

の規模で

あ

つ

たかといえば、

吉田

神

(『兼見卿記』)

と綴っ

ており、

まさに「空前絶後

言葉がぴったりの大茶会だったようだ。

当宮には茶文化が脈々と息づいている。 あり、 月舎。 水を汲んだと伝 用 この大茶湯の証として境内には、 松向 た 茶室松向軒には 利休井户」 軒の両茶室では月釜が また上七 わる 「太閤井户」 が の 細 川三斎公が使った「三斎 遺っ 西方尼寺には千 ている。 掛けら が 中ノ森広場に 太閤ご自身が 現 在でも明 利 休居士 茶人

植えよ」 比 援 月 叡 により こうした故 よっ 山 日 の 続けら 茶祭まで する 事を引 で永忠が嵯峨天皇に茶を献じたことや 出された記事があり、 れている北野天満宮独特の神事なのである。 菅公が編纂された『類聚国史』には、 継ぎ、 の は 室町 連の祭典は、 毎年十 時代後期である。 一月二十六日の御茶壺奉献奉告祭から十二 献茶祭保存会の方々の並々なら 菅公は妙薬としての茶に明るかっ しかしお茶そのものは古く 「畿内や大津などに茶を 弘仁六年 (八一五 ぬ 遣 御

唐

支

両 更に菅公 北 を考え 台が北野 六百年も前に茶と接していた菅公を茶の先達とし に られた最 捧 げ 天満宮になっ る献茶を研究される事により、 初のお方でも たのは秀吉公の菅公崇敬の あった。 茶の 湯に 表れ お け て ٢ 仰 る

たに違いな

が



西方尼寺に残る千利休居士が用いた利休井戸



太閤井戸

殿には名器の数 め の 町 人・ 7 豊臣秀吉 献茶祭の 利 百 休 姓 Þ 公がが 源と 津 唐人によらず参加せよ」との高札が畿内各地に立てられ、 が展観された。 田 なる 宗及・今井宗久各居士ら当時の名高い茶人が亭主を務 開 , た空前絶後の大茶会 北 野大茶湯」 は、 で 天 あ 正 る。 十 五 開 年 催二カ月前に「 五 八七) の

秀吉公を始

べきの

者

は

月

Z

て、

ځ

令和元年 菓匠会

鶴屋吉信 鍵善良房 先斗町 駿河屋 亀屋陸奥 長久堂 亀末廣 亀屋良長 本家玉壽軒 千本玉壽軒 塩芳軒 笹屋伊織 京華堂利保 亀廣保 末富 亀屋清永 二條若狭屋 三條若狭屋 嘯月 亀屋良永



協賛席 菓匠会 (絵馬所)

れの菓子につ込めて造った な御 来場 で、 て 花 ンを向けて写真を撮る人が お菓子に見 皇 だ。 の の 今年 色も鮮 宴」、 代になるように の参拝者は、 の 万歲千秋」 よろこび 莱題 位 やかなも 「寿ぎ」、 たお菓子で、 を祝 つけられた題も は、 と スマー 寿ぎに溢 の 各店が との 令 、和を迎 が 、和に寄 っ 和 並 たもの で豊 そ 願 1 んだ。 れぞ いを ħ 寄 「せ 梅



菓題「祝い・よろこび」

を披っ れ、 都 が h 用 お 京 うと その 物 菓子の展示会を開 の 会が絵馬所で開かれ 達 菓匠 「菓匠 の の 露 老 毎年献茶祭斎行にあわ 「上菓子仲間」 いうも 和菓子の素晴 年の菓題に添っ 舖 つとなっ 和菓子店約二十店で 会」による お茶と共に は、 江 の 献茶祭の しさを見てもら 1, 飾り た珠玉 時 た。 発展してきた て 流 代 九 る。 をく 菓子 0) せ 五の一品 て、組 日 各店 織む 0 裏 0) 飾さ京



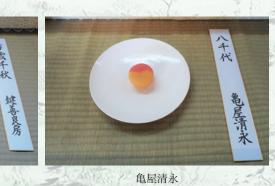
多くの観覧者で賑わう展示会場



嘯月



鍵善良房



茶祭

に

協賛

十二

月

献

茶

祭

に 令

和協

を 賛

迎 L

え

菓 菓

子 匠

で

寿

< が

菓 h

子 菓

を 子

示

展展

和飾

亀屋清永



文化の





御

神

前 に

会員名簿をお

供

え

講

社

大祭斎

行

(会長

裹千家千玄室大宗匠)

の

文化

の日の十一月三日午後

列

する中、

曲水の宴斎行

紅 梅

殿

千会長ご参列のもと、講社大祭を斎行

千会長のご挨拶 された。

で千玄室会長ご 和元年度講社大祭を、北野天洋です 願成就を祈願した。 信仰の更なる昂揚、 で宮司が祝詞を奏上、千会長が玉串拝礼され、天神全国三千人の会員名簿が御神前に供えられた御本殿 時 和 御本殿と中庭の特設席に約五百人が参 から御本殿で厳かに斎行し 挨 拶

会員の無病息災・家内安全・

千会長が玉串拝礼され、

われる紅 社大祭に引き続き、 梅 殿 船出 の庭に移動し、 参列の会員は 千会長が殿上から挨 「曲水の宴」 が 行

年の北 皆さま方のご援助を頂戴して行われたことに感謝致しま 東西 -会長は 工事はまだ終わっていませんのでなお一層のご協力 平安時代の都人の気分に返られ優雅な催しに浸って 参列の皆さま方に御礼申し上げます」と前置きさ 野天満宮講社の素晴らしい大祭がただ今行 の御廻廊御屋根の檜皮屋根葺き替え工事などが 「令和となり、 挨拶を結ばれた。 · ます。 これから曲水の宴が始まりま めでたい天皇陛下の御 こわれま 位

漢 朗 詠 の 秋 回 0 に わ 曲 た 水 h 0 安 の 開 雅 催 を 再 現

和



天に

盛 国

5

を

流

満

員

の

は

盛況ぶり 般 年 朗 参 目 拝 者 を見せ の る 部 部 北 と二回 は 野 講 天 社 満 大祭参 に 宫 分け 独 自 て 列 の 者が 行 曲 対 水 象、 の ず 宴 第

1

興

四 漢

皇主 曲 う 伴 ħ んに か 水の宴 5 独 宰 て飲み、 込 伝えら 自 め 詩 の 催 の 和 文 7 ż ŧ 形 魂 曲 n は 式に 遺され 成二 漢 水の た。 題 イナ に 庭に よっ 奈良• 宴 宇多 即 の て L 流 て再興し 年 精 に 1,1 天皇に重用さ た詩を賦すという れる る。 平 の 幾度も 神 を 安時代には宮中を中心 十 小 示 紅 月三 川 ż 梅 招 に ħ 殿 か た菅 酒 れ 船 ħ 出 を た菅公 の そ 和 公 雅 を の 漢 庭 ħ いな宴。 際 朗 偲 の た は、 ぶ完 に

氏 の で 司 公 슾 益 に 財 団 法 有 斐斎弘道 館 館 長 の 濱 崎

本光 解 子 出 流 漢 世 Þ 上 ょ て と 説同 で

から 志

加社出杯

学 た 口 題 子

れ次作

期学長

ょ

て披講され

濱崎氏に

よる

来

品 当

は て

谷

口

匡

京

都

教育大学教

授

لح

植

木

朝

たれ舟弘に

潤

平 佐

和 藤

青 の

結

四

氏。

が

自

分に

田

旭

四

氏

和

歌

を

詠

ť

歌

は

高

橋

た 田

基 海

づ

き漢

詩

4 池

和

歌 芽

を筆 0

たた 各

流

れ

に

を

た

F

を

詠

詠

者

人

が

人 安

ず

に を

な

て だ

和次

に 誘 5 作

羽

流

水

移

に

身

包

W

沿

つ 歌

て

座 t 觴

L

た。

漢

詩

を 男

詠

は つ 束

奥

田 組

充

詠 菅

n

る 漢

中

白

拍 子が似

舞 酔

鑑 雅

賞者

を平

安 合

の

雅 せ

の 朗 殿

公

0)

詩

花

時

が

楽

0)

音 進

に

わ 紅

行、

梅

子

と じ

た。



東田大志氏・海平和氏



岸本光弘氏・舟田潤子氏



は、

奥田充一氏・高橋マキ氏



佐藤 旭氏·青池結芽氏



童子(左から、森田 桜さん・田村みそのさん ・江上晴亮くん・水谷 凛さん)



朗詠 藤村正則氏・御手洗靖大氏(付物 京都雅楽会)

曲 水の 宴 で披露 され た漢 詩 と和 歌

詩人 奥田 充 ((株) m e m esスクエア代表取締役)

慧根刻苦欲求祥 感怒天神生禍殃 願無電腦超人智 日日商工五十霜 與田充一

> 慧根刻苦欲求祥 日日商工五十霜 慧根 刻苦して祥を求めんと欲す 商工五十霜

願無電脳超人智 願はくは電脳 人智を超え

感怒天神生禍殃 天神を感怒して禍殃を生ずること無かればいる。

*五十年にわたりモノづくりに最前線で携わってきた詩人だからこそ願う、 災いを引き起こすことのないようにとの思いを詠んだ詩。 人工知能が神を怒らせ

歌人 高橋マキ(文筆家・カラスマ大学学長)

めてとよいし祖母の機言 神をに水のなかいを聴きおれば

神庭に水の流れを聴きおれば幼にとよみし祖母の機音

*船出の庭の小川のせせらぎを聞いていると、幼いころに訪ねていった西陣の祖母の家で聞いた機 音を思い出すという歌人の幼き日の思い出を詠んだ歌。

三番

東田大志 ((株) 東田式パズル研究社 代表取締役

窓前楓葉冒霜紅 冽冽秋風吹学宮 小童高志人知否 謎苦辛蛍雪功 東田大志

窓前楓葉冒霜紅 冽冽秋風吹学宮 窓前の楓葉霜を冒して紅なり 冽冽たる秋風 学宮を吹き

小童高志人知否 小童の高志人知るや否や

解謎苦辛蛍雪功 解謎の苦辛 蛍雪の功

*パズルに魅入られパズル教室を営む詩人が、紅葉が染まり秋風吹き付ける中、高い志をもって学 ぶ子どもたちの様子に思いを馳せて詠んだ詩。

海平 和(KBS京都アナウンサー)

紅葉 我へ連なる糸をしず思う

いくつもの縁のなせる紅葉葉に我へ連なる糸をしぞ思ふ

自分につながる大切なご縁の糸のように思われるという思いを詠んだ歌。

*アナウンサーとして多くの方々との出会いがあった歌人。錦のように織りなされた紅葉を見ると、

岸本 光弘 ((株)ジェイアール西日本伊勢丹常務取締役 営業本部長兼京都店長)

一共百洛 期賀一春 貨城賀 州一会笑颜温真木楼行客繁飒伝駅馬蹄喧

> 共賀春秋冬夏喜 百貨大楼行客繁 洛城伝駅馬蹄喧 共に賀す春秋冬夏の喜びともがしゅんじゅうとうかいよろこ 洛城の伝駅 馬蹄喧しく 百貨大楼行客繁し

*京都の玄関口である京都伊勢丹をあずかる詩人が、お客様とともに春夏秋冬さまざまな喜びを祝 い一期一会笑顔でなごやかに接するという自身の日常と心がけを詠んだ詩

期一会笑顏温

一期一会笑顔温やかなりいちごいちゃくしょうがんおだ

歌人 舟田 潤子 (色彩銅版画家)

既是川流るる舟かわか学か なしほに幸舞いおりぬいるこ

紙屋川流るる舟かわが筆か描く縁に幸舞ひおりぬ

(、筆で描く絵にも幸せがもたらされるようなご縁を感じると詠んだお歌。*紙屋川の流れる北野の地に生まれ育った歌人。紙屋川を見ていると小舟が幸せを運んでいくよう

四番 恋

詩人 佐藤 旭(東大寺学園高等学校二年生

毒山雨野黄鶴鳴 彩開浴月別雜 宽 恨恩君淚不晴 慈

青山雨霽黃鸝鳴 故里春來柳絮輕

故里春来たりて柳絮軽く 青山雨霽れて黄鸝鳴くせいざんあのはこうりな 郷関落月別離の処

惆悵思君淚不晴 鄉關落月別離處 惆悵として君を思ひて涙晴れず なりたよう まみ おも ながば

たという詩人が経験した(?)切ない恋を情景豊かに詠んだ詩。 *春を迎え緑が萌える美しい季節であるにも関わらず、故郷で月夜に恋人と別れ、涙が乾かなかっ

青池 結芽(嵯峨野高等学校二年生)



汝の影やさと知る我に比ぶれば心知らじな燃ゆる思ひを

*どんな人込みでもすぐにあなたの姿を見つけることができる私の思いに比べ、あなたは私の燃える 思いに全く気付かないようだという片思いの切ない心を詠んだ歌。百人一首の藤原実方の歌「か くとだにえやはいぶきのさしも草さしも知らじな燃ゆる思ひを」を本歌としている。

さん

京都



の対談を掲載する。 (構成・編集部)今号は京都精華大学(京都市左京区)の学長、ウスビ・サコさんをお迎えし、橘宮司と

日本の大学における初のアフリカ出身者の学長について

えしましたが、外国出身の方は初めてなんですよ。 宮司 このコーナーには、これまで学者、文化人、 芸術家などなど様々な方をゲストとしてお迎

サコ それはどうも、ありがとうございます。

に取り上げられました。就任されて随分経ちますが、まずご心境をお伺いします。 日本の大学の学長にアフリカ出身の方が就任されるのは初めてということで、 各メディア

るなど、小さな大学ですけれど世界に知られたのはよかったと思います。 取り上げられたことで、今まで日本の大学とは提携しなかったような国からの提携話が持ち上が 選ばれたんですよ。ただ、ニューヨークタイムズとかBBCとか、フランスのラジオ局などでも 私が学長になったのは、アフリカとか外国出身とかで選ばれたわけではなく普通に選挙で

宮司 て京都大学に学ばれたわけですが、そこに至る過程を簡単にご紹介下さい。 日本の教育界にとっても素晴らしいことですよ。西アフリカのマリ共和国のご出身で、 中国の大学を経

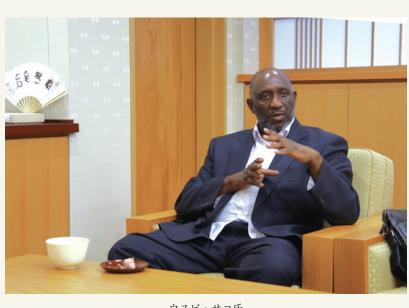
生徒の成績などで理系、文系を振り分けたものです。中国では建築を勉強しました。 教育委員会が決めるので、こちらの希望ではありません。私は理系でしたが、これも高校の時、 格後に上位の学生は国費として留学することができます。中国に留学したんですが、どこの国に留学するかは サコ 高校の時、バカロレアという大学など高等教育機関に入学するための資格及び国家試験に合格して、合 教育委員会が

宮司 その後、日本へ来られたわけですね。

心が高まったのです。文化大革命が終わって十年後ぐらいの時に中国にいたのですが、当時の中国の関心は研そういったあまりよいものではありませんでしたが、来てみて別の日本に出会ったような気がして日本への関 強することになったのです。 究よりも都市と建築の建設には熱心でした。 国の南京に住んでいましたので、日本のイメージは大虐殺の話や日本軍の問題、即席食品ばかり食べているとか、 本人の友人宅へ遊びに行ったんです。結構長い間いて、大阪へ行ったり、京都で祇園祭を見たりしました。中 学院へ進みました。日本へ来たのは九一年ですが、その前年の夏、マリ人三人で中国へ留学していた東京の日 経済状況が悪くなって、帰国して公務員になっても二年間給料が貰えないといった状況となり、 国家公務員になるという前提での奨学生なんです。大抵は大学を出た後は帰国しますが、 色々あって大阪のYMCAで日本語を習い、 そして京都大学で勉 ちょうど国

ウスビ・サコ氏略歴

1966年、マリ共和国〈西アフリカ〉の生まれ。中国の北京1966年、マリ共和国〈西アフリカ〉の生まれ。中国の北京語言大学・南京東南大学を経て来日。京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程修了。工学博士。京都精華大学人文語言大学・南京東南大学を経て来日。京都大学大学院工学研究語言大学・南京東南大学を経て来日。京都大学大学院工学研究



ウスビ・サコ氏

んな学問でしょうか? 宮司(ご苦労が伝わってきます。ところで、専門にされている「空間人間学」とは耳慣れない研究ですが、ど

7門の「空間人間学」とは

て決まるのに近代建築はそれを逆にしてしまった。 はない。ちゃぶ台を置けば食堂になり、布団を敷けば寝室になる。 空間、機能的な空間です。形と機能とは一体化させなければいけない。しかし、日本の畳部屋を見るとそうで かといったことの研究です。近代建築の勉強といえばデザイン、設計の勉強であり、そこにあるのは合理的な 究をしていて、誰がその場所を使うかとか、その人がどういう心理を持ち、どういう行動パターンをしている 一言で言えば建築学で、そんな学問領域は体系化されたわけではありません。建築計画という分野の 機能というのは持ち込む道具や行為によっ

宮司 近代化と言う言葉に私たちが麻痺してしまい、大事なものを忘れてしまったという反省ですね

サコーそういうことです。

宮司 打ち水の研究などもされたと聞いていますが…。

ており、その感情は人間の本質的なものですが、それが京都の場合は、水を打つ隣は「うちら」で、 で止めてしまうか、そう思う瞬間には何か理由があるのです。これはアフリカで中庭の研究をした時にも感じ 打ち水というのは共同体としての日常行為ですが、隣まで気を配って水を打つのか、自分のところだけ 打たない

隣は「あそこ」と言葉まで違います。行為と言葉が連動していたんです。

ナコー 言葉)具質が ウェウはいいがく こうりゃくこう 「丘」にそこういつでいる宮司 なるほど、面白いですね。京都に住まわれて何か感じることがありますか。

サコ したら「本当に来たんだ」と困った顔をされたことが何回かありました。 言葉の真意がわからないことがよくありました。「近くに来たらいつでもおいで」と言われ、 その通りに

宮司 代わっても生き延びる知恵がそうさせた。これは私なりの解釈ですけど…。 ませんが、京都はその傾向がとくに強いと思います。千二百年の都はいろんな権力者が来て支配した。 国際的な感覚からすれば言葉を曖昧に使う傾向は日本人全体にあると思います。 お茶漬けの話ではあり 政権が

れさえすれば社会として、いいなと思います。 とは思っていません。京都に入り込む条件の一つは京都を理解することです。京都の人たちがそれを教えてく サコ 京都はこれまでいろんなものを柔軟に受け入れてきたと思っています。ですから京都がすごく排他的だ

国際化が進んでいます。それに伴い京都の文化、良さが失われる、と心配する人もいます。

ていくのは当然のことです。 学習していく過程の中で変化していくものなのです。この多様化の時代に京都も、 われている、という風に考えるのはおかしいです。文化はそんなに弱いものではありません。お互いが生活し、 いて「うちの子どもは海外に行かなくても国際的になっている」と感じるようになればいい。それを文化が奪 スーパーに行けばいろんな国の食材が並び、保育園に行けばいろんな国・バックグラウンドの子どもが その現実に合わせ多様化し

文化・芸術について

当宮は菅原道真公という一度この世に出て、 没後、神として祀られた方の神社ですけれども、 道真公は



ていく中で学習したものだと思います。学習は地域も自然も関係するし、食べ物だって関係してきます。 ロボット時代に入っても残ると思います。で、その周辺に文化がありますから、文化は私たちが社会生活をし ることに繋がっていますから、ある意味でコミュニケーションのツールでもあるわけです。ですから、これは そういうものを自分の内から表す時は必ず芸術になると考えています。芸術作品は私たちの内面を外に表現す とか、はっきりしなければならないとか…。しかし、人間には必ず抽象的な部分があり、それは説明できない。 その価値観とか考え方だと思います。

もそうですけれど裏には消費文化がついています。 という事態がどんどん進んでいくとすればさびしい。 上のために残るわけです。 に送り出すような世の中は問題だと思っています。 私ごとですが、 ご縁があって三月七日の春の「曲水の宴」に漢詩の詠者として出て頂くそうで、 地域で文化が違うのは学習の結果なので、その地域に合ったもの、その地域にしかないものが地域の いえ、こちらこそ楽しみにしています。 息子が翔鸞小学校で先生からサッカーの指導を受けたと言っていました。 しかし今、グローバル化の時代です。文化の統一性を図ろうとする中で、大衆文化 人間性(力)という価値で測るのではなく市場価値で測る 人間性よりも市場価値で測って、 私たちの子どもを社会

向

サコ 最近、芸術的思考という言い方がよくされますが、芸術というのは表現されたものだけでなく、やは

私たちは論理的思考に引っ張られています。答えを出さないといけない

をすることにも力を入れています。文化、芸術について思っておられることをお聞きします

平安時代の学者であり、政治家であり、文化人でした。亡くなられたすぐ後に「文道大祖」「風月本主」と崇

れ、とくに芸術に優れた方でしたので、その心を世界に発信しようと、いま、当宮では様々な文化的な催し

ありがとうございます。

れていたんですね。 サッカーもさ

機会があまりなかったのですが、お呼びがかかり六年ぐらい中学部の監督をしました。 サコ マリで小・中・高とやっていて、中国でも大学のチームの一員でした。日本へ来てからサッカーをやる

今後の研究や抱負があればお聞かせ下さい。

きました。幸せな社会づくりのために少しでも貢献したいと思っています。 日本社会でもさびしい高齢者がたくさんおり、日本の社会システムが田舎をどんどん圧迫している実情も見て ています。日本で共同体の研究をしていく中で、京都の南山城とか三重・和歌山などの過疎地を巡りましたが、 口は本当に爆発してしまいます。ただ、若い人たちが多いので、将来は彼らの教育を支えていかなければと思っ 私の出身国のマリもそうですけれどアフリカ諸国の現状がいつも心配です。このままの状態でいくなら

幸せは与えられるものでなく、 自ら手に入れる努力が必要

います。これからの社会は彼らに依存していきますので、 この社会の中に課題を感じて幸せになっていないと思ったら、 その幸せは誰かが自分に与えてくれるものではなく、自分でそれを手に入れるという努力が必要です。だから、 若い人たちを含め、社会が自分を幸せにしてくれる、ということに頼り切っている気がします。 最後に全国から参拝にやってくる若者たちへのメッセージをお願いします。 そういう子に育ってほしいと私は思っています。 彼ら自身が社会を変革する力をきちんと身につけて 自分でそれを変える力を身につけてほしいと思

大変貴重なお言葉を頂き、ありがとうございました。

「もみじ苑」賑わう

色づき遅れ、見ごろは十一月下旬から 多彩な奉納行事が入苑者増を後押し

の 紅 葉 た の ŧ び ま ŋ 15 あ ま ず 手 向

菅公御歌



ライトアップの公開も十一月九日から始まり、「KY さを増し、十一月下旬からが一番の見ごろとなった。 OTO NIPPON FESTIVAL」(十八、十九 の冷え込みが厳しくなるにつれてもみじの色は鮮やか した。暖冬の影響もあって色づきは遅れたが、 史跡御 : 土居「もみじ苑」が十月二十五日から開 朝晚

り壊され、今では当宮を始め市土塁が御土居。時代とともに取総延長二十二・五キロにも及ぶ 敬者組織の北野天満宮講社(会 当宮境内は史跡に指定され、崇 内に九カ所しか残っていない。 苑者がまったく減らなかったた たことと、十二月に入っても入予定していたが、見ごろが遅れ た。当初は十二月八日の閉苑を 入苑者が増え、昼も夜も賑わっ 日に日に"錦秋の美"を求める (十六、十七頁掲載) も後押しし、 し昼間のみ)して対応した。 太閤秀吉公が京都の周囲をぐ 開苑期間を一週間延長 但



史跡 御土居のもみじ苑 舞台ライト

大賑わいのもみじ苑茶店



頁掲載)や多彩な奉納行事

国宝御本殿を眺める展望所



大勢の拝観者で賑わうもみじ苑

中継が行われ、 二十八日夕には、 でもたびたび取り上げられたことも大きく、

とくに

列が出来る日もあった。テレビや新聞なごメディア も恵まれ、多くの入苑者で賑わい、開苑時間前に行 の祝日、三十日、十二月一日の土日などは天候に た。これに伴い入苑者も増え始め、

とくに二十三日

え込みが厳しくなるにつれて徐々に本来の美しい

づきを取り戻し、十一月末には、一気に見ごろとなっ

年より色づきが薄いように思われた。

幸い朝晩の冷

きは大幅に遅れ、ライトアップが始まった当初も例

しかし、今年は暖冬の影響を受け、

もみじの色

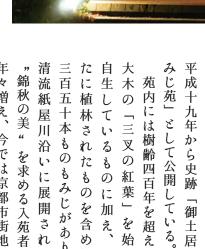
の中に映える神秘的な錦秋の世界が紹介された。

神職の解説もあって、

夜間のライト

読売テレビによる御土居からの生

られた。 修学旅行中の学生団体が夜間入苑する光景も多く見 根という珍しい光景を闇夜に浮かび上がらせた。 作業は伝統的な足場、 なったため、 イトアップすることで小屋組の様子と完成間近の屋 など外国からの団体が訪れた日もあった。また、 今年は外国人の入苑者が多かったのも特徴で、 :屋根修復作業の様子を眺めることができた。この また今季は西廻廊御屋根檜皮葺き替えの工期と重 国宝御本殿を見渡せる展望所からは、 丸太の小屋組が用いられ、 ラ



は有数のもみじの名所となっている。 年々増え、今では京都市街地で 清流紙屋川沿いに展開される たに植林されたものを含め約 大木の「三叉の紅葉」を始め "錦秋の美"を求める入苑者は 苑内には樹齢四百年を超える b 新



フォトスポットとして人気を集める鶯橋



修復中の重要文化財西回廊檜皮葺御屋根

3

史跡御土居「もみじ苑」は、

十月二十五日から十二月十五日まで開苑。

都 連 歌 の 会 「もみじ連歌会



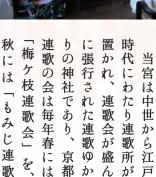
上

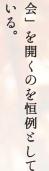
+ あ

軒

奉納した。 れた四十四点の作品を 日、紅梅殿で催され、 「もみじ連歌会」が九 賦何人連歌」で詠ま 京都連歌の会恒例の

連歌の会は毎年春には 置かれ、 時代にわたり連歌所が りの神社であり、 に張行された連歌ゆか 梅ケ枝連歌会」を、 連歌会が盛ん 京都





た連歌は三十頁に掲載) いた参拝者に会員が丁寧な うに殿上の様子を見上げて 前に張り出され、 その都度一点一点、 この日 明を行った。(奉納され 詠まれた連歌 興味深そ 紅梅殿 は



でや の か 舞 に 妓 \exists さ 本ん 舞 踊 奉 納



やかに舞い、 妓さんが「重ね扇」「もみじの で行われた。もみじの色づき 橋」「京の四季」の三曲をあで ライトが照らす中、三人の舞 はまだ始まっていなかったが、 舞踊の奉納が御土居特設舞台 を構えた参拝者を楽しませた。 七軒の舞妓さんによる日本 ライトアップ初日の九日夕、 スマホやカメラ



殿前で行われ、 勢のよい演舞が参 納が十六日、 花風姿」の演武奉 の「京炎そでふれ! 同志社女子大学 、紅威梅

野五 天郎 神兵 も衛 み*一* じ門 寄 席 社 務 所 大 広 間 は 爆 笑 0

露

北の



務所大広間で催された。 露の陽照・新幸・眞・ 棗・ 団姫・都・

落語の露の五郎兵衛

門による

「北野天神もみじ寄席」

が十七日、

渦

瑞・団四郎・紫・新治の一門

で包んだ。 満員の会場を笑いの渦 の落語で一席伺い、 十人が次々古典や新作 超

3 栄を祈願した。 列しての碑前祭が斎行 衛碑の前で出演者が参 にある初代露の五郎兵 n, 開演に先立ち、 門の益 マの





十一月に行われた奉納行事を紹介する。 北野天満宮ならではの多彩な奉納行事が繰り広げられ、 四回目を迎えた「KYOTO NIPPON FESTIVAL」開催に加え、 京炎そでふれ! 演舞奉納 昼も夜も賑わった。 花風



拝者の拍手を浴び

境 北野天神太鼓会の和太鼓奉納~翔鸞•仁和両校児童も共演内に 勇壮 な和 太鼓 の音



入っていた。 勇壮な和太鼓の音が境内一杯に響きわ 和太鼓奉納が九日、十六日、二十三日 たり、多くの参拝者が足を止めて聴き 和両小学校の和太鼓クラブ員も加わり、 た。三夜とも同会が指導する翔鸞・仁 と三夜にわたり紅梅殿前の庭で行われ となっている神若会北野天神太鼓会の 「もみじ苑」開苑中の呼び物の一つ

たが、日頃の練習の成果をしっかり発 大勢の観客を前に緊張した児童もい 素晴らしい演奏を披露した。

古 講武 道 絥 館 갣 柔流 道派 のの 源演 流武 奉 天納神 真 楊流 柔 祈

を浴びていた。 相手を制したりする古武 武奉納が二十四日、 手を投げたり、 で行われ、 甲源一刀流剣術・正木流万 術を始め浅山一伝 籠 力鎖術の古武術四流派の演 て創設された天神真楊流柔 |祈願した紀州藩士によっ 技を披露、 江 戸 時代後期、 組んだ瞬間に 参拝者の 刃物を持つ 当宮に 流体術 紅梅殿 拍 相 手





オカリナとギターの 万葉集』の令和 . の 典 共 拠 からの 演 曲

三大学

学 生

の奉納

演

学·京都府立大学·

京都工芸繊維大

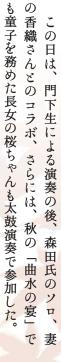
さんが曲をつけ、 の典拠となった『万葉集』の梅花の宴の序文に阿武野 弾き語りとオカリナのコラボ演奏も した。さらには新元号「令和_

がら歌えば、鈴江さんも『万 いう曲をオカリナでソロ演奏 葉集』の和歌に発想を得たと に曲をつけ、ギターを弾きな 二十五日夕、紅梅殿で行われた。 武野逢世さんの奉納演奏会が 江先子さんとギター奏者の阿 もてなし大使に任命された鈴 阿武野さんが菅公作の和歌 オカリナ奏者で京都観光お

あり、多くの人が聴き入っていた。

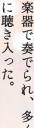
玲 月 流の 篠 笛 奉 納

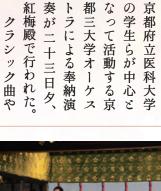
日夜、 が率いる玲月流の篠笛奉納が十 当宮での奉納は、 力とし、森田氏が初代の奏者。 とし、清らかで透明な表現を魅 祭囃子の指使いと呼吸法を基本 る竹の横笛。玲月流の篠笛は、 笛の音色が参拝者を魅了した。 篠笛は、日本に古くから伝わ 初代森田玲氏(京都市在住) 紅梅殿であり、澄んだ篠 今年六月に次

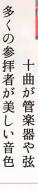


いで二回目。









映画音楽曲など約



伝統とポップ文化の融合が入場者を魅了

多くの入場者があり、 最先端の文化を発信するもので、 プ文化の融合」。歌舞伎発祥の地である当宮から 日 NIPPON FESTIVAL」を十月二十五 伝統文化の魅力を国内外に発信する「KYOTO から十二月八日まで文道会館を中心に開催し 日 四回目を迎えた今回のテーマは「伝統とポッ 本文化の礎となった天神信仰の発祥地 盛況ぶりをみせた。 若者層を中心に から



Jazz奏者 TOKU 生演奏でグランドフィナーレ

紅梅殿で催した。 オープニングセレモニーを十月二十四日、 ープニングセレモニーを十月二十四日、雨の中、「KYOTO NIPPON FESTIVAL」の

オープニングセレモニー

さんのインタビューやミュージシャンの八王子Pに 事ないけばなパフォーマンスを披露、声優の戸松遥NOBOYS(イケノボーイズ)のメンバーが、見 よるライブ演奏などが行われた。 け。門川大作京都市長、寺田一博京都市会議員らが、神若会北野天神太鼓会の勇壮な太鼓の演奏で幕開 んの尺八演奏に合わせて華道家元池坊に学ぶIKE して、それぞれ挨拶した。 四回目を迎えたこの祭典が盛大に開かれることを祝 引き続きドイツ出身の尺八奏者、ウベ・ワル タさ

プロのイラストレーターが描く 国宝をアニメートする』 現代版北野天神絵巻"の世界

の壮大な神社絵巻。当宮には根本縁起と称される「承 久本)の著名な場面を現代の解釈で描いた " 現代版 宮の創建と霊験談などをまとめた全九巻四十三場面 了した。 北野天神縁起絵巻"が展示され、多くの入場者を魅 ター六人が当宮所蔵の国宝『北野天神縁起絵巻』(承 『北野天神縁起絵巻』は、菅公の御事績や北野天満 地下会場では、日本を代表するプロのイラストレー

久本」のほか、鎌倉時代成立の「弘安本」、室町時代



六画仙が描く<mark>現代版『北野天神縁起絵巻』</mark>



三十六画仙のイラスト展示

した「平成記録本」も所蔵) している。(他にデジタル技術を駆使し承久本を複製 成立の「光信本」、江戸時代成立の「光起本」を所蔵

"現代の絵師" たちは、 組んだ。 くのか、「国宝をアニメートする」を命題として取り 使して描いている。ならば、令和の新時代、六人の 師たちが、その時代ならではの手法やアイデアを駆 各時代の絵巻は、その時代の最高の技術を持つ絵 天神縁起をごう解釈し、 描

け

六道巡歴」、「船出」、「文子託宣」の六場面を、一人 児化現」、「清涼殿落雷」、「紅梅殿別離」、「日蔵上人 質、賀茂川の六氏が、承久本などの中から選んだ「幼 森倉円、タカヤマトシアキ、藤ちょこ、LM7、六七 一場面ずつ描いた。現代版"天神絵巻の公開と

り鑑賞する人が相次いだ。 新しいモチーフで描かれた天神縁起の世界をじっく 大きなモニター 画面に承久本の映像が流される中、

"三十六 の魅力を盛り上げるバーチャルアイドル 画 「仙"が描く「初音ミクと京都」

長年間、 場で一堂に展示した。 音ミクと京都」を主題とした作品のコンテストを行っ ixiv(ピクシブ)」が今回のフェスに合わせ「初 われた歌舞伎発祥の地であり、ウエブサイトの「P 舞伎踊り)」を奉納するなど先進的な取り組みが行な し、多くの歌舞伎ファンの喝采を浴びた。当宮は慶 た新開場記念の超歌舞伎では中村獅堂丈と"共演" ル(仮想)アイドルで、八月に京都・南座で行われ 京都」が主題。初音ミクは、若者に大人気のバーチャ 一十六人の作品を "三十六画仙" に選出し、この会 全国から千点を超える応募があり、 出雲阿国が境内で初めて「ややこ踊り(歌 階は "三十六画仙" が描く「初音ミクと 審査の結果、

"三十六画仙" の命名は、 当宮の絵馬所に掲額さ

催しは終了した。

当宮など京都の風景の中に溶け込む初音ミクがおり ちなむもので、さらにこの中から京都市長賞・京都 京都の魅力を盛り上げた。 市観光協会会長賞・北野天満宮賞の三点を選んだが、 れている平安時代の和歌の名人「三十六歌仙」

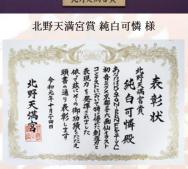
描き込んだ場もある『東山・北野遊楽図屛風』の複 や鬼切丸などの御神宝を解説した。 ドラマで、拝観者にわかりやすく、 を紐解いていく―」という物語のオリジナルボイス のコラボレーションが実現した。「創建以来奉納さ ユイ(少女)の解説に誘われるように、中世の伝説 れた数々の宝物を目にした主人公キリトとアスナは、 オンライン」、そして生け花の根源「華道家元池坊」 近未来の世界を描いたTVアニメ「ソードアート・ も流され、伝統とポップ文化の融合をアピールした。 製画(部分)が張られ、南座での超歌舞伎のビデオ また、宝物殿では国宝「北野天神縁起絵巻」と がばなが展示された会場には、阿国の歌舞伎興行を ポップ文化を意識した華道家元池坊の斬新的 当宮に残る伝説 ない

るよう」など様々な解 るでキリトがアスナを大きなマントで包み込んでい スナを表現した生け花を展示。ファンの間では「ま 入口正面には、 華道家元池坊が主人公キリトとア

パーティとして、 界に包まれ、 J じ苑茶店特設舞台で KU氏が登場し、もみ 唯 日 釈が生まれたようだ。 ン ト・フリューゲルホー 夕、 。露。 にわたるすべ プレーヤーのTO 最終日の十二月八 azzの生演 一のヴォーカリス 会場は晩秋の世 クロージング 四十五日 奏を T 日本

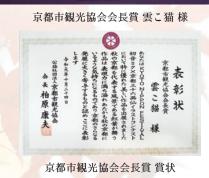






北野天満宮賞 賞状









京都市長賞 賞状



元旦より

月二日

御札や御守などを求める参詣者を合わせる人々は勿論のこと、 お正月の縁起物は、 の天神矢や干支の一刀彫など、 で境内は溢れかえる。特に招福 する。また境内も、御神前に手 どの御祈祷が大変多く、御本殿 願を始め家内安全・厄除開運な いっぱいに御祈祷者が昇殿参拝 当宮の初詣は、受験合格祈 参拝者に喜



書き初め「天満書」を始めるこ 御神徳を偲び、この日から神前 え、書道の神でもあった菅公の 公御遺愛の硯などの御神宝を調

筆始祭並びに「天満書」奉納



午前九時から、 御本殿に菅

とを御神前に奉告する。

加え、例年約四千点が、十九日 まで行われ、子どもたちが書道 午後一時から二十六日午後三時 家庭で書いて奉納された作品を をし、作品を奉納する。これに 日に書家の先生らによって審査 まで西廻廊で展示され、展示初 の上達を願って力強く書き初め 「天満書」は、絵馬所で四



月二日まで

月一日

献華展 華道家元池坊京都支部



花が、初詣参詣者の目を楽しま る新春を彩るいけばなの奉納。 の形でいけられた正月らしい生 披露され、立花・生花・自由花 毎年、元旦と二日に神楽殿で 華道家元池坊京都支部によ

皇室及び国家の隆昌と世界の平 祭が、午前七時から宮司以下神 民の弥栄を祈願する。 和、氏子崇敬者を始めとする国 れる。祭典では、年頭に当たり 職により御本殿において斎行さ 新年最初の神事である歳旦

月三日

新春奉納狂言

楼門

に西陣織人形

月五日まで

郎社中によって行われる。 ら神楽殿で、猿楽会と茂山忠三 新春奉納狂言が午後一時か



親しまれて来た。昭和四十年代 として西陣の夏の風物詩として 帯で疫病退散を願い作られはじ などにより復活したもの。 に一時途絶えてしまったが、近 めた糸人形は「笹屋町造り物」 明治初期から西陣・笹屋町 西陣和装学院や金襴関係者

毎年テーマを変えて制作し、正 陣和装学院学長の監修指導のも 月期間楼門内部左右に展示され の依頼によって、毛利ゆき子西 当宮には、西陣織工業組合 同学院と西陣連合青年会が



並び、一際賑わう。 董や古物商・飲食品の屋 台など多くの露店が立ち

道を始め境内周辺は、骨 れ親しまれている。表参 津々浦々から参詣者が訪 京阪神はもとより全国 に「初天神」と呼ばれ、 で最初の縁日であり、 月二十五 日は、 特

若者が行列をなす光景が 験合格・学業成就を祈る 御本殿や牛社の前は、受 見られる。 シーズンに入っており この頃は、すでに受験

月五日

そろば んはじき初 め

を奉納する。 初め奉賛会」に集う小中学生約 んの上達を願って「はじき初め」 前十時から絵馬所にて、そろば 四百人が、御本殿参拝の後、午 北野天満宮そろばんはじき

話題となる。 もあるジャンボそろばんが毎年 長さ五・五メートル、四百桁



二月三日

節分祭と追儺式

によって、神楽殿の上から威勢よく豆が撒かれる。 よる日本舞踊の奉納が行われる。そして最後に、狂言師と芸舞妓 の「北野追儺狂言」が奉納され、 を祈った後、午後一時から神楽殿で、茂山千五郎社中による伝統 午前十時から御本殿で節分祭を斎行し、今年一年間の除災招福 併せて上七軒歌舞会の芸舞妓に

慣が根付いている。 と称して、当宮を始めとする四社寺を参拝し、 災難除・厄除の社としても篤い信仰があり、節分には「四方詣り 当宮は、京都の「乾(北西)の隅」の守り神として創建されて以来 無病息災を祈る習



月二十五

初天神

十五日

日午前十時から、御本殿にて梅花祭

菅公の祥月命日となる二月二十五

九百有余年の歴史を誇る祭典

后陛下の御代理として拝礼される慣 れる。また、貞明皇后御参拝の古例 立」という二種の特殊神饌が奉饌さ 偲び、御神慮を景仰申し上げる。 わしとなっている。 により、宮内庁京都事務所長が、皇 た梅の花を用いた「梅花の御供」「紙 を厳粛に斎行し、御祭神の御遺徳を 御神前には、七保会会員が調製し

り「梅花祭野点大茶湯」が催され、 者で賑わう。 相交わり、境内は非常に多くの参拝 でる人々や、縁日を楽しむ見物客も 上七軒の女将・芸舞妓らの奉仕によ 公開中の梅苑の馥郁たる花の香を愛 境内では、美しく咲いた梅花の下、











半から御本殿で斎行する。 緋袴に千早を身にまとった「八 社員の無病息災を祈願し、白衣 祭典である梅風祭を、午後三時 乙女」が鈴舞を優雅に奉納する。 梅風講社の更なる隆盛と講 当宮崇敬者団体、 梅風講社の



三月二十五日

北野の一次一条行された祭典・行事

一條天皇行幸始祭を厳かに斎行

行した。 一條天皇行幸始祭を十月二十一日午前十時から御本殿で厳かに斎一條天皇が歴代天皇として初めて当宮に行幸されたことを寿ぐ

にわたり歴代天皇が行幸される。(一○○四)のこの日、初めて行幸され、以後平安時代に二十数度一條天皇は北野祭を官祭とされた天皇であり、寛弘元年



第十一回北野大闘茶会

引送は、装重なほうにおけれていることである。 が十月二十日、絵馬所に約六十人が参加して開かれた。 第十一回北野大闘茶会(京都市茶業組合・京都市茶業青年会主催

類を紙に書き込んだ。 類を紙に書き込んだ。 類を紙に書き込んだ。

と、感想を述べた。
おの女性は「楽しかった」者が多く、イスラエルの女性は「楽しかった」野天満宮賞が贈られた。今年は外国人の参加野天満宮賞が贈られた。今年は外国人の参加・五点満点の女性が二人もおり、じゃんけ



子どもたちの笑顔弾ける七五三詣で境内華やぐ



た。
七五三詣の親子連れで十月から十一月末

を拝の最盛期は例年通り十月末からで、と を授かり、うれしさいっぱいの表情。御本殿 を授かり、うれしさいっぱいの表情。御本殿 を授かり、うれしさいっぱいの表情。御本殿 を授かり、うれしさいっぱいの表情。御本殿 を授かり、うれしさいっぱいの表情。御本殿 をがあり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、うれしさいっぱいの表情。の本と を授かり、もれ、



菅公偲び余香祭を斎行 古式ゆかしく献詠歌披講式

本殿で斎行し、その後、この日の恒例となってい 菅公を偲ぶ余香祭を十月二十九日午後二時から御 る献詠歌披講式を古式ゆかしく執り行なった。 去年の今夜清涼に侍す」の名詩をつくられた

在り く菅公を偲ぶ祭典。 でその時の栄華を追想され「去年の今夜清涼に侍 天皇から御衣を賜った。一年後、配流先の大宰府 清涼殿での重陽の宴に召されて詩を詠まれ、 日』をつくられた。 昌泰三年(九〇〇)九月、右大臣だった菅公は ・ 捧持して毎日余香を拝す」の名詩『重陽後秋思の詩篇独り腸を断つ 恩賜の御衣今茲に 余香祭は、 恩賜の御衣今茲に この故事に基づ 醍醐

「去年の今夜清涼に侍

会長)の会員ら六人が、綾小路流の独特の節回し られた献詠(今年の兼題は『衣』)の中から濱崎加 が十三首を選び、車座になった向陽会(冷泉為弘 奈子氏(歌人·公益財団法人有斐斎弘道館館長) で古式ゆかしく詠みあげた。 献詠歌披講式は、余香祭にちなみ全国から寄せ

向陽会会員らは烏帽子に小菊を挿して奉仕した。 神前には白と黄色の菊花が供えられ、 神職





令和元年余香祭献詠披講選歌 衣

誰にでもあり 令和はじめに贈られし 衣に纏はる 想ひ出は

若狭

静

嫁ぐ日の 孫の衣は 華やぎて 我の心も めでたさに酔ふ

野 千寿子

君と見し 白妙重ぬる 梅の花 衣にしむる 香こそ深けれ

野に寝ては 衣手に染む 月草の うつろひやすき 秋の夕暮れ

有里

手洗

濡るる御衣に 民思すらむ おほ君も П

被きてなほも 芽ぐむ草木

選者 濱崎 加 奈子

さしたる菊に「今もおぼゆる 賀茂御祖神社権禰宜御衣の「うつろふ香り」求むれば

田 中 明

御光仰ぎ 衣くまなし 百官 坂神社権禰宜 仲林

亨

耳に貴き 衣ずれの音 ・ なずれの音 神田神社宮司 平野 修 保

狩衣に 身を調へて たてまつる 御歌ゆたけし 黄菊薫りて 御霊神社宮司 小栗栖 元德

夕陽に栄えし 錦の衣菅公の 御心偲ひ手向山 向陽会 稲垣 邦弘

衣ずれの音 宮に流るる 吹きそめて 向陽会会長 冷泉

しのぶ余香の 御祭かな 业管公の かづきたまへる 御衣をば 北野天滿宮宮司 橘 重十九

令和二年 献詠兼題

月

十八五

春月

▼ ▼ ▼ ▼ 十 御 七 四 一 旅 月 所 月 月

月月月陸 街藤夏奥芽 袴雲

大 月月 忍逢坂

九 月 須磨

▼余香祭 扇

迎春準備

相とどのいました

大福梅の授与始まる



ら始まった。 授与が事始めの十三日か として使われる大福梅の 元旦 の祝い膳に縁起 物

時の村上天皇も病に罹ら 平安時代中期の天暦五年 当宮ならではの縁起物。 健康を祈る梅と縁が深い 湯や初茶の中に入れて頂 れたが、このお茶を服さ (九五一)に疫病が流行し、 大福梅は、 邪気を祓って一年の 元旦に

れて無事平癒されたとの故事にちなむ。

を塩漬け・天日干しにして調整し、 大福梅は、 境内約千五百本の梅の木から採った梅の実 裏白を添えて奉書紙

に包んだもので、「この大

ら授与所に並んだ。 利益を頂くのが正月の習 わし」という参拝者が朝か 福梅を頂き、天神さまのご

限定の授与も始まってお 月ムードとなった。 の干支「子」の絵馬の数量 同時にこの日から翌年 授与所はひと足早く正





早く新春の香をふりまいた。 十二月五日夕、楼門に取り付けられ、 令和最初の干支「子」を描いた大絵馬 一馬足が

り日本画家の三輪晃久画伯によって描かれ が足場を組んで取り付けた。 百二十キロという大きさで、宮大工約十 三メートル、 この「子」の干支絵馬の原画は、 絵馬は無垢のひのき材で造られ、 高さ二・二五メートル、 例年

のネズミだったので感無量です。 あってほしい、との願いを込めて描きまし 令和という元号を書き、しかも最初の干支 た」と、話されていた。 作業を見守っていた三輪画伯は「初めて いい年で



初詣参拝者の応接の心得学びました」

職から神社の由緒や参拝者の接遇の仕方などについて学 修会が十二月十四日行われ、約一二〇人の学生たちが神 正月の初詣参拝者の応接に当たる臨時巫女奉仕者の研

味などについて説明を受け、授与する際の心得などにつ いてもみっちりと指導を受けた 祈った後、 正式参拝し、 に臨んだ。当宮の御由緒を始め御守りや御札の種類や意 白衣・ 緋袴の巫女姿に着替えた学生たちは、 社殿や境内の説明を受け、 初詣参拝者の応接が無事務められるように 文道会館での研修 御本殿に

要な役割を担うだけに、参加した学生たちは終始真剣な 表情で研修を受けていた。 正月には授与所など第一線で多くの参拝者と接する重





正月奉仕者研修



国宝 「京都非公開文化財特別公開 賑わう



実在の人物である菅公が、神

国宝『北野天神縁起絵巻 承久本』 者で賑わった。 として祀られていく過程を中心 久本)が公開され、多くの鑑賞 ある天神縁起絵巻の中では最も 起絵巻』(承久本)は、幾つも に記述された国宝『北野天神縁

る。 古く、 根本縁起ともいわれてい

全九巻あるうち今回公開され



醍醐

院行幸」の段など、また六巻は「清涼殿

らを重用すべきか問いに赴かれた「朱雀 天皇が父の宇多法皇に菅公と時平のごち 告げられる「紅梅殿別離」の段や、 流が決まった菅公が紅梅殿の梅に別れを たのは三巻と六巻。三巻は、

絵巻の世界に引き込まれていた。 中には熱心にメモをとる人もあり、 さんの鑑賞者が食い入るように見つめ、 絵と詞書によって展開されており、たく 落雷」や「時平薨去」の段などが美しい

太刀 鬼切丸別名髭切(重文)

「感性」「伝統」「未来」をテーマに 二世代十一人の作家が意欲作発表 開

ら十一日まで社務所と神楽殿で開かれた。 「洛宙」(異世代の宙) ANSEIアート展京都2019 展が、十一月五日か

文化保存協会主催=が十一月一

公開文化財特別公開」 = 京都古

令和元年度の秋の

「京都

日から十日まで宝物殿で開か

れ、国宝『北野天神縁起絵巻』(承

みからつけられたもので、 京都から広くアートを発信していく意気込 「洛宙」とは、 志を同じくする表現者が 今回が発足の展

テランから三十九歳の森本盾二氏(彫刻) の三島喜美代氏(現代美術)といった超べ 品を発表するなど各人の意欲的な作品が並 で書いて丸め、これを天井から吊るした作 に『古事記』の全文を万葉仮名とカタカナ ち寄った。千登勢氏(書)は、巨大な和紙 来」をコンセプトとして制作した作品を持 躍する十一人の作家が「感性」「伝統」「未 まで熟達・壮年・新鋭三世代のその道で活 んだ光景は圧巻で、美術愛好家の鑑賞で賑 九十一歳の林康夫氏(陶芸)、八十七歳

その他の出品者は次のみなさん。 (敬称

築)、中川周士(木工芸)、 麻殖生素子(表装・屛風)、柴田いづみ(建 (グラフィックデザイン)、村田好謙(漆) 富田文隆 (木工造形)、久谷政 夏原晃子 立

特別会場 メイン会場

北野天満宮







KANSEI アート展

几帳 ブ ライダ 奉 納奉告祭斎 ル ガ IV] 行 プ 「幸梅 会」



奉告祭を斎行した。幸梅会会」より十一月二十二日、几会」より十一月二十二日、几会がなどのプランを手掛け宮参りなどのプランを手掛け 掛けている。奉納された几帳料理などのパックプランを手 『人生節目節目の記念日に真心 をこめて』と、衣装や写真・ は、「ブライダルハウス・オエ」 鶴屋吉信」「萬重」からなり、 オーク・ヘアー」「松本写真館」

成した。 ルと大きく、「花嫁さんもすっぽり隠れるほどの几帳が完 ぜひ天満宮に奉納したかった」と話されてい は高さ約百八十センチメー

岩下

友行氏、

林浩

氏

神

前 に

馥 小

郁たる菊

花奉納

アクリル樹脂製の彫 宇宙曼荼羅」 故恩田静子さんの遺 を奉納 刻 族

さん=東京都練馬区= で奉納奉告祭を斎行した。 品を当宮に奉納、 日子さん 日子さん 十二月六日、 の作 が、 長品 女、 で知 恩 田 5 高 さん 梨れ 御 幸 る 本の恵彫

彫刻の森美術館、ルーマニア国立美術と、八十二歳で亡くなった。二紀会(一般社団法人)参与を務め、モナコ公国現代美術国際大賞やリヨン美術館賞などの受賞歴があり、その作品は箱根のでは、一般のでは、からとで知られる彫刻家で、 くり 収蔵されている。館(常設展示)な 奥行二十センチ、重量四十五キロの作品。 た幅七十九センチ、高さ五十七センチ、名付けられたアクリル樹脂を素材にし 々の幻想的な彫刻作品を制作してき 恩田さんは、アクリル樹脂を使い、 納されたのは、「宇宙曼荼 羅

奉納奉告

前に奉納され、ご家族で写真撮影をするなど、参拝者のどの色鮮やかな菊の花は、多くの参拝者で賑わう御本殿の愛好家で、真心込めて育てられた黄色、白色、紫色なより、今年も見事な菊の花が奉納された。両氏は菊の花京都菊友会会長岩下友行氏と京都菊栄会会長小林浩氏

目を楽しませていた。



いら思 まれい さ す た が ح 遂

境内 [燈講 石 燈 籠献 燈明用具 燈奉 仕 走 八清掃



うそくを入れる為のガ約十名は、寒空の下ろた小石原満講社長以下 日、境内で燈明田る皆燈講が十二日の場が 二十五日 ラスカップを熱湯でひ 末式の 用月仕 十を や毎 四す 大月

とした。毎月二十五日のライトアップは、 幽美な世界に包まれた境内を創り出している。 約三百五十基の石燈籠に手作業で火が灯され、 とつずつ丁寧に手洗いをし、一年間の汚れを落

神若会北野天神太鼓会 総会北野祭保存会・北野神輿会、

会及び忘年会が、十二月十四日午後六時より開会・北野神輿会と、神若会北野天神太鼓会の総北野天満宮の神社青年会である北野祭保存 野天満宮の神社青年会である北野祭保



そのような祭りの再興におの中に尊さを感じた。知の中に尊さを感じた。お出に触れながら「先日初出に触れながら「先日初出に触れながら「先日初いかれた。神輿会の井上経 向け、是非皆様のご協力 の一年間の奉仕活動の労 太鼓会竹内会長からはこ を賜わりたい」と挨拶。 いと来年度の更なる飛躍 開会し

祭事曆(1月1日~3月31日)

[1月] 1日午前7時 歳旦祭 (中祭式) 2日午前9時

筆始祭 天満書 (午前十時) 神前書初め (四日まで)

家庭書初め (五日まで受付)

3日午前9時 元始祭

奉納狂言(午後1時)茂山忠三郎社中

7日午前9時半 若菜祭

9日午前10時 摂社白太夫社例祭 14日午前10時 末社伴氏社例祭 15日午前10時 月次祭 御粥祭 成人祭

25日午前9時 月次祭 午後4時 夕神饌

初天神

26日午後3時 書初め「天満書」授賞式

[2月] 1日午前10時 月首祭 3日午前10時 節分祭

北野追儺式(午後1時)

追儺狂言 茂山千五郎社中 日本舞踊 上七軒歌舞会奉納

豆撒き

4日午前10時 霞祭

地主社霞祭

9日午前9時半 末社稲荷社 初午祭

11日午前9時半 紀元祭 15日午前10時 月次祭 23日午前10時 天長祭 24日 参籠

午後4時 梅花祭前夕饌 25日午前10時 梅花祭 (中祭式)

午後4時半 夕神饌

野点茶会(午前10時)

上七軒歌舞会奉仕

[3月] 1日午前10時 月首祭

[1日] 1日 盐类奴伊寿公

12日午前10時 摂社老松社例祭 摂社福部社例祭

14日

15日午前10時 春祭 (大祭式) 20日午前10時 春季皇霊祭遥拝式 摂末社 春季祭

25日 午前 9時 月次祭

午後3時半 梅風祭 八乙女舞奉納

午後 4 時半 夕神饌

27日 午前10時 摂社宰相殿社例祭

月釜献茶(1月1日~4月30日)

44

(明日本)

	献条祭保存会	体会	(明月舎)
15日	献茶祭保存会	北風宗照	(明月舎)
	松向軒保存会	奥水宗津	(松向軒)
19日	梅交会	安渕宗悦	(松向軒)
[2月] 1日	献茶祭保存会	柏木宗恵	(明月舎)
9日	梅交会	吉岡宗美	(松向軒)
15日	献茶祭保存会	半床庵社中	(明月舎)
	松向軒保存会	杉山宗喜	(松向軒)
23日	紫芳会	紫芳会	(松向軒)
[3月] 1日	献茶祭保存会	長谷川宗葉	(明月舎)
8日	梅交会	村岸宗紫	(松向軒)
15日	献茶祭保存会	松山宗泉	(明月舎)
	松向軒保存会	岡本宗琴	(松向軒)
22日	紫芳会	今村宗幸	(松向軒)
[4月] 1日	献茶祭保存会	藪内燕庵社中	(明月舎)
12日	梅交会	濱内宗厚	(松向軒)
15日	献茶祭保存会	官休庵社中	(明月舎)
	松向軒保存会	村上宗美	(松向軒)
26日	紫芳会	布施宗青	(松向軒)



御本殿東側

0)

写

撮 ン

影

さ

和

72

時

0

雪

は

26

つ

多

か

0

72

17

違

は

三 5

+

真四り

で、

강

だ

降

9 積

続

V 量

7

V

1

7

お

朝

かニ

降

がセ出を

ュ

1 "

ス

報

1.

7 17

る。 録

2

2

雪

京は出

Ŧi.

り、の日大

+ 0

の報

前に

日

午

時 る

現

在、

都

市

内

積 夕 雪

面

1

プ

で

記

1)

大雪」

大見

1

で、

なこ

かのれ 他小。 2 Ŧi. V 12 年 2 を 26 当 前 の作 明 に思 後 日 0 治 0 72 撮 S 除 影 ほ 匹 を馳せてし 雪作業はさぞ大変だ ك さ 年 0 礼 開 大 72 設 雪 雪 の京都 0 まう 中 大雪警報も出され 0 測 候 所 つ 殿 (現京都 裏」 ただろう 0) 地 写 方気 たと 真 から 象台 残 つ V

ぶ枚雪 同 年 1) 0 で 大 中 あ 雪 る。 0 月 境 2 裏 内 京十 あ 12 0) り、 写 日 は 真 付 何 昭 で 破の 和 京 なく 道の都 殿 新 神 九年 東 聞 職 側 朝 0 の刊 驚 2 月 を きが 繰 一十六日 0 伝 7 わ 45 朝 る。 てく ti 撮 社る + 雪刻の会



正式参拝された皆様(敬称略)(十月~十二月)

月二十四日 (木) $\widehat{\exists}$ KYOTO NIPPON FESTIVAL 東新井天満神社氏子総代会

一十五日 金 彌栄自動車株式会社 実行委員会

KANSEIアート実行委員会

月 月 月 大原天満宮総代

月 月 株式会社アマダホールディングス 京都産業大学 下出ゼミ学生

月 一月 五日 四 日 火 月 澄懐堂美術館友の会 富山市八尾上新町曳山保存会

十一月 十一月 九日 七日 主 木 京都連歌会 日本橋三越伊勢丹外商会員

十一月 十日 日 玲月流森田玲一門

月 月 十六日 十一日 主 月 京炎そでふれ!花風姿 北京大学付属高校

一月 月二十二日 十七日 金 日 吉村その伊織上方舞教室 露の五郎兵衛一門

評

月二十三日 主 京都三大オーケストラ

月 二十五日 二十四日 月 日 阿武野逢世・鈴江先子 天神真楊流柔術

二十六目

火

京都産業大学下出ゼミ学生

— 日 日 火 日 青森県立三沢高校学生 京都ホテルオークラ季節の旅

火 石川県神社庁金沢市支部

木 京都シニア大学史跡探訪部

十 八 九 日 日 京都府神社庁役員会

挙式された皆様(十月~十二月)

新郎新婦様、 十一月二十七日 十一月二十七日 十二月二十一日 十五日 十六日 十九日 十三日 十九日 十日 御両家の皆様の末永いご多幸をご祈念申し上げます。 (水 土 主 主 日 火 水 小野 田畑 佐藤 遼・佳苗 田中 敏史・あゆみ 倉恒 弘行・鈴 小浜 芳樹・咲智子 髙橋 俊将・瀬菜 山根 志郎·未乃里 邦勘・英令奈 悟志・夏々生 敬志朗・瑳希 ご夫妻 ご夫婦 ご夫婦 ご夫妻 ご夫妻 ご夫妻 ご夫妻 ご夫妻

濱崎加奈子選

菅公は詩歌に優れ、多くの名歌を詠まれました。室町時代には「和歌の神」と 仰がれ、さらに柿本人麻呂と山部赤人と並んで「和歌三神」と称えられています。

十 月 煙

秋日和籾焼く煙里を這う あの煙手作り釜でピザを焼く 釣瓶落しのひと日暮れゆく 定年むかえ里山に住む 大阪 府 村島 麗門

> という言葉の響きを味わっていただけたらと思う。春の奥山、秋の け鳴く鹿の声聞く時ぞ秋は悲しき」など、単に「山」ではなく「奥山」

人里離れた山奥をいう。百人一首に収められた「奥山に紅葉踏みわ

奥山。秋はとりわけ「奥山」だからこそ悲しさ寂しさが身にしみる。

朝もやに煙る氷のミルフィーユ 音さくさくと踏みしめて行く 京都市 岐阜県 波多野千寿子 小山 博子

禁煙がルールとなりて灰皿を 洗ひし昭和遠くなりゆく 京都市

民の家のかまどの煙見たまひし 大御心は今の帝も

東京都

若狭 静

忘れてはならぬ歴史の真実を

ローマ法皇巡礼の旅

大阪

府

村島

卆寿越えものを忘るることの増えて

十

月

したジ

心安らかならぬ日日

岐阜県

波多野千寿子

白石

雅彦

晦日には日本の心でそばを食べ 命長くとあやかり忘れず

を忘れまうし忘るまじ かなはぬ願ひ星は降れども

京都市

山

東京都

石

あらたまる御代の朝日のすがしきを 忘れじと思ふ年襲ねても

れない。仏壇の線香も煙の出ないものが喜ばれたりするという。 避けられがちな社会となった。焚き火に焼き芋といった風景もみら 灰皿に昭和が遠く感じるという歌も見られた。煙草だけでなく煙が

という人類の文化の根源的な存在を、見直すべき時かもしれない。

京都市 朝比奈栄子

志忘るるなかれ生き方を

示す書を読む古希の手習ひ

京都市

若狭

静一

京都市 小山 博子

うぐひすの春声響き瑞気満つ

桜の城の奥山聖し

山の奥そのまた山の奥の奥

十

月

奥 山

ポツンと一軒家ひとり住む

大阪

府

村島

麗門

岐阜県 波多野千寿子

奥山は鹿猪猿と野良荒し

予防対策皆四苦八苦

色はいさもみぢの錦織りこみて 変化うるはし奥山の秋 京都市

若狭

静

門前は浅茅が原のひとつ宿

山巓の孤樹ひとり紅葉す奥山に残る入日の神さびて 裏の奥山浅草の古今

> 東京都 白石

雅彦

京都市

朝比奈栄子

歳忘れの起源は古く、室町時代の公家の日記にも見られる。歳末の けたらと思う。 人が寄り合うなかで育まれる文化の厚みを北野の地で感じていただ 北野天満宮には室町時代から江戸時代にかけて連歌会所があった。 夜に催された連歌会で百句巻かれ、酒盛りに舞にと盛り上がった。

● 献詠奉納についての問い合わせは、北野天満宮献詠係までご連絡ください。



京都連歌の会 服部 満 千子

今から三十三年前のことである。 び京都にと、思いを同じくする濱千代清氏と模索されてい 藤本光城先生は、 高師直や吉田兼好の時代の連 歌を

初賦

話をしてくださった。一方、濱千代氏は大阪の杭全神社に連歌広く美しく、社長秘書の岡田さんという美人の方が親身にお世接待をしてくださった。『六六』は途中で床面積を二倍にされ地下に、囲炉裏談義『茶爐夢・六六』を開いておられた。社長地下、、番屋の老舗「井六園」様が河原町三条ロイヤルホテル当時、茶屋の老舗「井六園」様が河原町三条ロイヤルホテル 会を発足された。

京都新聞が取材にきて紙上に報道された。月に第一回目の北野連歌会が張行され、歴史的発見というにお就きになられた冬のことだった。井戸発見の明くる年 歌を巻きたいものだ」とおっしゃった。それならと光城先生とのがあった。われわれも是非、その汲み上げた水で墨を磨り連あるとき光城先生が「昔、北野天満宮には連歌井戸というも の中村達四郎先生が他界されて、松岡栄二先生が二代目の宗匠ぜひ、整備したいとおっしゃってくださった。前年、初代宗匠たしかに朽ちた涸れ井戸があった。宮司もこんな貴重なものは 「ここに連歌井戸とある」と指摘され、全員がその場所に走ると、の神官が絵地図を出してこられ、みんなでみると、一人の方が たもそんな井戸は知らないと、きょとんとしておられる。一人二人で天神様にお願いに伺ったところ、浅井宮司はじめ、どな ののこ

思う。それは伊原昭氏の色彩場面、用語のように十万色以上からないので、すぐにそれと知られる。しかし、源氏物語は登場が多いことは周知のことである。伊勢物語は登場人物も場面も多く複雑にからまっているので、もしかしたらまはどに急激に関西で指摘されるようになったと講師の先生からほどに急激に関西で指摘されるようになったと講師の先生からほどに急激に関西で指摘されるようになったと講師の先生からまがある。実景と高天原を一つの歌で表現している。この一年に表々が気づいていない本歌取りがあるかもしれないと密かに対する。 万葉集を新古今風に思う。それは伊原昭氏の色彩場面、用語のように十万色以上からまみ変え、実景と高天原を一つの歌で表現している。 万葉集を新古今風に世歌は、ある意味で新古今和歌集に似ている。 新古今は二つ連歌は、ある意味で新古今和歌集に似ている。 新古今は二つ 連 歌も冬空にまたたく星のように無数の取り合わせ が連衆にも源氏本歌取りに長けた歌人がおられる。 新古今も

花の舞かんざし揺れて月もさぞ

武彦

稔

靖大

松本村 押川かおり ・ お田 和神 ・ 和子り ・ 和子り

三二三三三

服部満千子 鞠絵

二三三三四三三二

山

大介

かとよ紫の

乙女の春のうつろ

ひぬとも

業平が浮き名も今は昔にて

武彦

三三

新山大鞍村村

規敦子子

黒髪のかおりだに疾く運べ

なよ竹ならでよそになびかじ

和元年十 一月 九 梅日 殿 張 行 宗匠 執筆 千子

初折裏 澄みわたる御法の声の ながむればそなたの空は晴れ しのぶよのわざにて簓 などかほのかに匂ふ撫子 近き山 霜の板屋に読まむ古書 茶の香ゆたかに身にぞしみゆく ゆくももどるもあやしこの 肘を曲げ聴く庵の雨 影もさや 在明の香にたちこむる風 萩の露旅ゆく袖も重るらむ かくも大いの火を蛍沢 今はただ思ひ出さへも涙にて ゆふつづの三つの筒星あふぎ見 冬の斎庭も御代新 万葉のむ 風もおとなひ来ませ草の戸に い水宇治の川辺の童唄 並黒くしづも かし かにすず虫鳴くも 訪 t 聞こ 東 の ゆら 恋 つ 道 やら t 宮司 で かおり 満千子 かおり まり絵 靖大 景子 和行 節子 裕雄 和伸 博介 武彦 節子 和行 景子 和裕伸雄 雄 九 名残裏 句上 夢がへや牛のねむりも覚むるころ にっこりと口笛吹きて子ら 軒うれ 宴うららかいやしけ吉言 都には光ひいづる花ざか 時は今とぞ野辺 真青なる空から飛びて道 網代車を清くととのへ 旅のあなたに雲ぞ流るる 縁に集ひていざや奏でむ 雅なる列を照らせや 雁 鳴神のまぎれにやがて添ひ臥 うちかへり 浅茅が露も橿原の 大臣かはれど世はこともなし 3 はるか西には沈む日 井の が音は同じき時にきこえ来る しさの旅は緑 水も しさ 砂に の夕立 涸 九 の若草 埋 し荒寺 を深うせ 望 の L 0) 絹 月 の の 道 ゆく して 関 まりゃ 満 稔 知敦武規子彦 節子 景子 1 規 博 規 7

子

絵

大行子規

伸

介

子绘

研究 北野文化研究所

松原 室長 史

躰 阿 弥 銘 あら わ

令

I

昨

年

の台風十九号の来襲を受け、 このほど完成した。その修理の過程におい て、 が発見された。 た西廻廊の屋根が約半年間の修理を終え、 廻廊の飾金具の中から興味深い 修理を行ってき 銘

う文字が彫り込まれていた。また破風の拝 されたことがうかがえる。 て希であり、 ることも明らかになった。飾金具に、こう 金物滅金ニテ)などが蹴り鏨で彫られてい 号 嘉永三年(一八五一)そして仕様 み裏に寄進者(若狭屋)とその家族名、 は金具で隠れてしまっている場所に、 る廻廊の破風飾りと懸魚六葉の部分。 した彫銘があらわされていることは極め 太町高倉東江入 錺師 躰阿弥 吉兵衛」とい その銘が発見されたのは、三光門に接す それだけの思いをもって奉納 丸 (角 年

公記』に安土城天主の二重目以下を担当し 八七頁)であった人であり、 『日本の美術No.437 飾金具』 至文堂 って「京都錺師の最重要工房」(久保智康 阿弥とは、 桃山時代から江戸時代にか 古くは『信長

おり当 京都の筆頭錺師であり続けた。躰阿弥銘は他にも天 に続き豊臣家にも仕え、さらに江戸時代になっても、 た者として名が記されている。躰阿弥は、 廊 の外に取り付けられている釣燈籠にも刻まれ 「宮との深いご縁が感じられる。 (一八三五) に北野天満宮に奉納され御本殿 織田信長

またこれらの飾金具は、 修復の過程において水銀鍍

> がれてしまう。対して水銀鍍金の場合は、合金化す属に貼り付ける技法であるが、当然ながら擦るとは 発性の高い水銀は、 るため鍍金後の彫りや細工が可能となる。 り作られたため多くの職工が中毒死したといわれる。 技法で、 銀を塗布し、その上に金箔を重ねていくことで銅 村氏のご指摘による)。水銀鍍金とは、 にあるが、この度の修繕においては、 Ŧi. 金の合金を作っていく方法。古来より行われていた 0 |枚の金箔を用いて鍍金するため費用もかさむ傾向 合金化にある。漆箔は漆を接着剤として金箔を金 がされていたことが明らかになった 一般的に修理でよく使われる漆箔との違いは、こ 奈良東大寺の廬舎那仏もこの水銀鍍金によ 扱いが難しい上、最低でも三~ 主要部品の修 銅金具に、 (社寺錺 有毒で揮 漆 ٤ 水 治

理にこの水銀鍍金が施されている。 色に生まれ変わった飾金具にもご注目いただきたい 代の匠の手により新たに水銀鍍金が施され、黄金 御参詣の際には、真新しい檜皮葺の屋根とともに、

現



破風拝み裏 寄贈者の名前と嘉



文字が確認できたのはこちらの部分

特別

の新

公開する。



飾り金具 水銀鍍金前と後 信仰の あったことの 出 り、この壺の り北野の地 土は古来よ

場

の令和 こちらの 和の世に新た えられる。 にあらわれ 証であると考 月一日から 壺 令 を た

の壺あら る

II

分かった。 美半島で作られていた壺の特徴を備えていること の名を蓮弁文)があらわされており、平安時代に渥 れる少し緑がかった釉に覆われ、 を丁寧に落としたところ、 安時代のものと思しき渥 先ごろ当宮の御土居東 劕 上部は自然の灰釉と思 美焼の壺が出土した。 紅梅殿の北西辺 袈裟襷文様 りより、 (また 土 わ

平

れ、文様としては現在東京国立博物館に収蔵されて へらを使ってつけられたと思われる文様が見うけら か所に耳がつけられていた痕がある。 三八·五 いる岩手県平泉町金鶏山経塚出土の自然釉刻線文壺 (平安時代)に酷似している。 \Box 径約十六·五 \Box の部分は割れており、 cm高さ約四 一 五 壺の下部には、 cm なくとも二 最大径 約

作られるのは古来より霊地や聖地とされた場所であ ないかと思われる。 壺(京都国立博物館寄託)が見つかったあたりであ 出土した場所は、 おそらくは同様に経筒が納められていたのでは ちょうど以 仏教の作善の一環である経塚が 前に経筒と常滑 焼



渥美焼 袈裟襷文壺 平安時代

貞 享 74 年 再 III 興 祓 大 嘗 祭 0 時 0

見川の祓の様子を描いた図である。 された大嘗祭に先立ち、 れたものであるが、貞享四年 の図は、当宮に伝 紙屋川河畔で行われた荒 しわる (一六八七) に再興 『宮仕記録』 に残さ

なうもので、応仁の乱が起る前年の文正元年この時の大嘗祭は、東山天皇の即位にとも (一四六六)を最後に二二〇年中絶していたもの 再興されたものである。

の転化したものである。 なった祓である。ちなみに荒見は荒忌(あらいみ) がれを除くために、 荒見川の祓は、大嘗祭に奉仕する官人が身のけ 陰暦九月晦日に紙屋川で行

職についての記事もある。 『宮仕記録』には、この祓に携わった官人や神

子をみてみよう。 情報と図とからこの祓の様 間半に四 間

浅黄 布 線 を幕で囲った仮設の施設であ 庇を付けた屋根を設け、 屋とは四方に柱をたて、 0 が幕 その柱でありその周囲 幄屋が建てられて 川に向かって一間 図に■で示され 衣が用いられた。 である。 [りを囲う幕は白 屋根と てい いる。 白布は はるるの 四方 棟と ٤ 幄

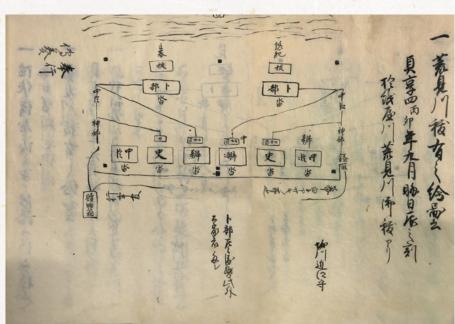
庭田中 縁に悠紀・主基の 納言 その左側には伝 重条と奉 一誠え所 行

> 殿が着き、両脇には一人ずつ神部が配された。 光朝臣、 見守がそれぞれ薦を敷いて座し、 ら中臣中西右京、史地下人一人、弁勘解由 元朝臣、弁葉室頼重、史地下山名主計、中鈴鹿主り中臣中西右京、史地下人一人、弁勘解由小路韶元守がそれぞれ薦を敷いて座し、その背後に右か一部鈴鹿佐渡守が、主基方払い所には卜部鈴木石 の薗頭 将基勝が配され、 悠紀方の祓え所には

供えるときなどに用いる四対の足のつい る小八足机・贖物・軾・薦は行事官が調えた。八 机は なお幕は木工寮の堀川近江守が調え、祓に用 「やつあしのつくえ」と読み、 神前に物を た机、贖 13

製高麗端 きである。そして幄舎の背いべり)の半畳ほどの膝つ 物は「あがもの」と読み、 後には、 軾は「しょく」と読み、藺 穢を祓い清めるためにその 家衆が多く控えた。 りとして差し出した物、 ト部左兵衛督や公 (いせいのこうら

して極めて珍しく貴重なも された荒見川の祓の記録と 享大嘗祭再興とともに再興 この図および記録は、



護治

[梅花祭野点大茶湯] 午前10時~午後3時 [祭典] 午前10時~午前11時 令和2年2月25日(火) 梅花祭野点大茶湯をあわせて開上七軒歌舞会協賛による ◎野点拝服券 2,000円

※拝服券・宝物殿拝観券・撤饌引換券付



御遺徳を偲ぶ神事

菅公顕彰

和漢朗

午後1時~午後2時(開場:午後0時30分) [観覧料] 1,000円 紅梅殿「船出の庭」 令和2年3月7日(土) 雨天決行

〈主催〉曲水の宴実行委員会

〈後援〉京都府・京都市・(公社) 京都市観光協会・

古典の日推進委員会



願

17

により當宮権禰宜の職を解く

(令和元年九月二十五日付)

 $\widehat{\mathbb{H}}$

大人1,000円・こども500円(茶菓子付) **[ライトアップ入苑料]** 日没~午後8時(最終受付) 右記期間の毎週末(金・土・日)に限り公開

2月28日(金)—

3 月 22 日

●ライトアップ

午前9時~午後4時(最終受付) 命和2年 2月上旬― 人人1,000円・こども500円(茶菓子付)

^{令和2年} 2月2日(火)

梅花祭野点大茶湯をあわせて開催



公開期間

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花 主なしとて春を忘るな

上七軒歌舞会協賛による 梅花祭 菅公の御遺徳を偲ぶ神事

京菓子



京菓子の歴史・文化や職人の技にふれ、京菓 子の魅力を味わうイベントを開催!

梅苑が見頃を迎える北野天満宮において京都 の老舗菓子店各店のオリジナル京菓子と抹茶 をご堪能いただきます。 京菓子に関する資料 展示や体験イベントなど、 京菓子文化に触れ

会場: 北野天満宮 文道会館 (京都駅から市バス50,101系紙。または「円町」駅から市バス203系紙「北野天満宮前」下車すぐ) 料金: 1,000円(京菓子2種と抹茶付)

梅苑入苑がセットになったお得なチケット

大人:1,800円 小学生:1,400円 (梅苑入苑料大人:1,000円 小学生:500円含む)

参加店舗 老松、亀屋良長、笹屋伊織、末富、俵屋吉富、鶴屋吉信、二條若狭屋

主催/京都市・京都市観光協会・北野天満宮 協力/京都市茶業組合お問い合わせ/京都市観光協会 ☎075-213-1717(10:00~18:00) ➡イベントの詳細は、ホームページをご覧ください。http://kyogashi.jp
※イラストはイメージです。





[退職辞

令

願いにより當宮権禰宜の職を解く

権禰宜 玉 井 清文

(令和元年十二月五日付) 権禰宜

米川 安世

日 紅本 梅文 殿化 かの ら発 は信 じ 地

ま 3 家

族

0

日

君は菅公の前途を祝 5観元年 (八五九 年 菅 公が + 五 歳 派の元服! 0 折 母

"久方の月の桂も折るば 和歌を詠み励まされまし が国で最初に家風を表され か h حر 家の 風 をも 0) が 吹 か 菅 せて 公 0) が 君 な ぐ

多 あ て ったと伝えられています。 \bigvee 家族 菅公邸宅ゆかりの紅梅殿での神前結婚式か 新たな家庭を築かれますようにとの願 がはじまります 江 派た な家風 点をも いをこめ つ 5 た母 稔 新 ŋ





但

初頒 穂料 布 開 始 無くなり次第頒布終了 本 年 000円 ·元旦

の初天神で参拝者に授与していた経 千五十年大萬燈祭 (昭和) 二十七年

させた招福の梅の枝 梅花祭で御神前に供える特殊神饌 ヒョウタンを取りつけ、 れと幸せを呼 「思いのまま」には、 用いる厄除けの玄米が入った 約六十年ぶりに授与を復活 んでほ 「思いのまま」。 L 家庭 菅公を偲 Ū との ~に春 願 ō 0 ぶ

北大路

鞍馬口

今出川

京都御月

烏丸 御池

四条

烏丸

鉄烏丸線 丸太町 出町柳

神宮

丸太町

三条京阪

祇園四条

清水五条

七条

東福寺



◆節分特別授与品の 頒

布

の

福豆の授与 災難除の御札 災難除の御札守 (数に限りあり) 厄除箸の授与 銀幣の 袋 (三種類) 授与 100 000 픤 **严**

御縁日 境内ライトアップ

三五

0

Ĕ

災難除の御

体 体

九〇〇円

毎月25日は天神さんの御縁日。 夜21時まで境内特別ライトアップ!

定期購読のお知らせ

- ●定期購読 1,000円(1年分) 季刊·年4回発行
- ●学校・教育機関でお申込みの場合 は無料発送。
- お申込み・お問い合わせは、社務 所まで。









右記QRコードを携帯 電話やスマートフォン で読み込むと北野天満

宮の最新情報にアクセスできます。上記 の各SNSでもご案内しております。

烏丸通 白北 梅町 北野天満宮 今出川通 大宮通 京福北野線 丸太町通 堀川 JR山陰本線 (嵯峨野線) 上条城 地下鉄東西線 西大路御池 御池通 三条通 内 西大路三条 阪急雷車 桂川 四条涌 京福嵐山線 西院 四条 宮 西院 五条通 西大路通 京都駅 東寺鉄

金閣寺

卍

今昔マップ

北大路通

平安京

B

か

5

5

当宮は平安京の乾に位置し、古くよ り天のエネルギー、パワーの働く北野 の地に祀られています。

平安京の内裏、大極殿北西に位置し 三光門の真上に北極星が輝き、天子様 が北極星を拝する聖なる社でした。

平安京の大極殿 (遷都より600年の間) は今の京都御所の西にありました。

紙屋川、堀川に挟まれ、すぐ北西に 当宮が建てられています。



